

ビジュアルデザイン学科

■ビジュアルデザイン学科カリキュラムの特色■

ビジュアルデザイン学科では、現代の情報社会で必要とされるビジュアルコミュニケーションにおいて必須となるデザインの表現技術と想像的構想力をもつデザイナー、クリエイターを養成するための多彩なカリキュラムを設置し、教育を行っています。

■ディプロマポリシー（学位授与の方針）

最新のデジタル技術と古典的な手作業の双方をバランス良く習得し、ビジュアルデザインを構成する文字・絵・動きをコントロールする能力を身につけ、視覚的な表現やコミュニケーションを通して社会活動や芸術表現領域に創造的な貢献が出来る能力を有したと認めた者に学士（芸術工学）を授与する。

■カリキュラムポリシー

ビジュアルデザイン学科では、最新のデジタル表現技術と手作業による表現技術の双方をバランス良く修得し、ビジュアルデザインを構成する文字・絵・動きをコントロールする能力を身につけ、視覚的な表現やコミュニケーションを通して社会活動や芸術表現領域に創造的な貢献が出来るデザイナー、クリエイターを養成するという教育目標達成のための実践的なカリキュラムを設定している。

具体的には、ビジュアルコミュニケーションにおいて、絵・文字・動きの3要素を視覚的に取り扱う技術・知識・感性・表現能力を、デジタル・アナログ両方向から身につけ、4つのコース（分野）のいずれか、または複数の分野における専門的な能力を養成し、さらにはそれらの融合から現代社会に有益な新たな分野の創成へと誘導、デザインの技術と想像力を養う。

* コース

- ・グラフィックデザインコース
- ・エディトリアルデザインコース
- ・Web・モーショングラフィックスコース
- ・イラストレーション・絵本創作コース

* 年次における基本的な学びの流れ

- ・ 1～2年次：ビジュアルデザイン全般の基礎的な知識、コンピュータスキルを含む基礎的な表現技術を学びながら、多彩な表現領域を体験し、専門性の目覚めへと誘う。
- ・ 3～4年次：ビジュアルデザインの各専門分野の知識と体験を深めるとともに、専門領域間のコミュニケーションを図り、各自の発想力・創造性を高め、独自の表現・創作へと結実させる。そのために必須となるデザインの技術と想像力を養成する。

ビジュアルデザイン

ビジュアルデザイン